

効率的・効果的な医療経営における システムの研究：オバマケアを題材に

商学部
経営・流通学科
教授
浅川 哲郎



研究シーズの紹介

本研究は、2014年にスタートしたオバマケアの中心的なシステムである統合型支払制度とアカウントブル・ケア・オルガニゼーションとを取り上げ、分析する。特に2017年にオバマケアに反対の立場であるドナルド・トランプ政権が発足してからは、当初のオバマケアのプログラムに変更が加えられてきている。

本稿ではその変更注意到意を払い、分析を深めている。米国では日本と比較して医療の水準は高いが、アクセスが悪いため新型コロナウイルスのような感染症に対しては脆弱なシステムと考えられる。最近ほど医療システムに対して関心が高まっている時期はないので各関係者に参考になると考える。



統合型支払制度

- 医療機関は患者に対して行った「一連の治療」に対して一括した支払いを受けてきている。
- 統合型支払制度は様々な医療機関のためにインセンティブを共有することができ、従って専門分野や医療の環境を超えて協調を促進することができる。



アカウントブル・ケア・オルガニゼーション (ACO)

- 医師や病院など医療の提供者のグループで、一定の集団のために可能な最も高い品質の治療を確実にするために協同するもの。
- 医療機関と保険者は、効率的な治療を通してコストを減らし品質を向上させるために協同するインセンティブを有している。

期待される活用シーン

- 地域住民の健康状態を把握し効率的に向上させる。
(例：行政や拠点病院)



原価標準を設定することで医療におけるトータルのコストの管理が容易になる。



- 患者様の健康状態を向上させるとともに顧客として囲みこみたい。
(例：医療機関)



患者様の健康状態に応じた治療をするとともに、健康管理の努力を医療機関とともに行う。



その他の研究テーマ

事業承継に関する研究、国際課税に関する研究